

後世へと、必ず伝えなければならない 日本現代史「最重要映像記録史料」画期的な集大成

高等教育など、授業や研究会における「歴史認識」の史料・教材として

発刊の目的と特徴 企画・制作・発行・著作 ©エムティ出版

映像で綴る空白の昭和史◎DVD-R 全120巻 終戦直後と日本占領下の記録

I 目的 「戦後 70 年が過ぎた今」未公開の映像も含め、占領下を解き明かし、占領下の歴史を学び考察。

目的趣旨: 日本が、第2次世界大戦で米国と戦ったことや、米国主導で戦後日本が占領下に置かれていた事実を知らない世代へ、現代史の教師・研究者各位へ。二度と実現不可能な「歴史認識」のための学術的映像、「映像一次資料」の集大成。※1945(昭和 20)年 8 月 30 日沖繩より、愛機「バターン号」で、マッカーサー元帥が厚木到着。日本の占領統治が始まる。

- ① 後世へ伝えるために、戦勝国、米軍・GHQ 通信隊が撮影した「終戦直後と日本占領下」の歴史映画の「捻じ曲げることのない」本物の映像で記録した体系的な集大成。
- ② 第2次世界大戦で敗戦した、超国家主義「日本帝国」がポツダム宣言を受託、無条件降伏した敗戦の事実と占領下の映画を体系的にテーマ毎纏めて、占領下の歴史を学べ、認識できる映像史料、教材とした。
- ③ 敗戦国となった日本、歴史上初めて外国に国家の主権を奪われ、戦勝国、米国の価値観で占領され出発した「新しい日本人」の思考が形成された占領下、その過程を考察できる内容とした。
- ④ 敗戦国が先勝国、米国主導による価値観の支配下に置かれ、A,B,C 級戦犯が厳しく裁かれた記録をノーカットの映像で解き明かす。
- ⑤ 敗戦で、連合軍(他国)によって、武力をもって日本領土を米国主導の支配下に、その実相を認識する。また、米国がある時期から日本占領政策が変更され、直接統治から「間接統治」となる。末梢行政機関にまで影響力を行使した GHQ 指令「SCAPIN・SCAPIN-A」とは？

II 特徴 「米国国立公文書館」(National Archive)所蔵。日本占領に関する映像素材を抽出。

編集趣旨: 「親から子へ、子から孫へと伝える」ための記録映画として集大成。=米軍・GHQ 通信隊が撮影したノーカット版の素材映像を体系的に①～⑩のテーマ別に沿って分類した画期的な労作の集大成。

- ① 「米国国立公文書館」(National Archive)に、バラバラに収蔵されていた膨大な映像群の中から、米軍・GHQ 通信隊が撮影した日本占領に関する映画に絞り込み 10 年間に亘る映像を抽出。期間 1945(昭和 20)年 8 月～1955(昭和 30)年 8 月迄、後世に伝える為の「最重要歴史記録史料」として、約 121 時間に及ぶ映像をノーカットで抽出した。
- ② 収録約 121 時間の映像をその道に精通した専門家により、網羅的に丁寧に視聴、921 件の映画に分類した。
※編集代表: 藤井非三四(戦史研究者・軍事史作家)他3名。
- ③ 921 件の映画をテーマ1～10に分類、網羅的編集方法により年月日を確認しながら素材映像の目次として 629 件(節)に纏め利用の便を図った。
- ④ 収録画像 121 時間を特に視聴が困難やダブリ映像を除き、総収録時間 117 時間 41 分 11 秒に纏めた。
- ⑤ 目次 629 件(節)に、分かりやすい解題・解説を付け、映像の年月日を確定、場所・建物・歴史的人名等を特定、映像に字幕で約 1,800 件を挿入、歴史認識の向上を図った。
- ⑥ 補足映像として、米国が制作し、プロパガンダに利用した 1938(昭和 13)年代から日本の姿を捉えたニュース映画、関連映像も収録。参考映像として海外のニュース映画、ドイツ降伏・欧州戦線、ニュールンベルグ裁判等の記録も収録。
□テーマ別編集の基本となり、映像全体を握できるコンテンツリストを作成し、解題・解説、映像の年月日の確定などの他に、付録史料として第二次世界大戦・占領史関係資料を多数収載。※体裁: A4 版、並製、約 148 頁。_